

連絡先：物流・自動車局 審査・リコール課 リコール監理室
 TEL：03-5253-8111 内線42361
 アドレス： <https://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：令和7年2月4日

リコール届出番号	5612	リコール開始日	令和7年2月5日
届出者の氏名又は名称	ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 渡部 克明 問い合わせ先：カスタマーコミュニケーションセンター 0120-090-819		
不具合の部位（部品名）	原動機（エンジンコントロールユニット）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	エンジンコントロールユニットのプログラムが不適切なため、スロットルポジションセンサーの接点部が微小な動きを繰り返すことで早期に摩耗し、摩耗粉が堆積することがある。そのため、接点部に堆積した摩耗粉により正しいスロットル開度を認識できず、エンジン回転数の変動が起こることでエンジン警告灯が点灯し、最悪の場合、エンストするおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、エンジンコントロールユニットのプログラムを対策プログラムに書き換えるとともに、スロットルポジションセンサーを新品に交換する。		
不具合件数	274件	事故の有無	なし
発見の動機	海外市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車特定整備事業者等に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメールで通知する。 ・自動車特定整備事業者等：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・弊社のインターネットホームページに掲載する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤマハ	SBL-RN80J	「XSR900」	RN80J-000301～RN80J-003678 令和4年5月13日～令和6年11月6日	3,376 台	
	SBL-RN70J	「TRACER900 GT」 「TRACER9 GT+」	RN70J-000301～RN70J-003564 令和3年3月9日～令和7年1月20日	3,264 台	
	SBL-RN69J	「MT-09」 「MT-09 SP」	RN69J-000301～RN69J-003351 令和3年2月10日～令和5年11月13日	3,051 台	
	SBL-RN87J	「MT-09」 「MT-09 SP」	RN87J-000301～RN87J-001781 令和6年3月25日～令和7年1月17日	1,481 台	
	SBL-RN96J	「XSR900 GP」	RN96J-000301～RN96J-001650 令和6年4月8日～令和7年1月20日	1,350 台	
	SBL-RN78J	「MT-10」 「MT-10 SP」	RN78J-000301～RN78J-000817 令和4年6月23日～令和6年11月29日	517 台	

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤマハ	8BL-RN88J	「MT-09 S」	RN88J-000301～RN88J-000771 令和6年6月10日～令和6年12月13日	471 台	
	8BL-RN84J	「NIKEN GT」	RN84J-000301～RN84J-000414 令和5年9月15日～令和6年8月8日	114 台	
	(計 8 型式)	(計 10 車種)	(製作期間の全体の範囲) 令和3年2月10日～令和7年1月20日	(計 13,624 台)	

(備考) 本届出は、令和4年3月1日付け「届出番号5107④」にてリコールの届出を行なった際に、スロットルポジションセンサーの故障に対する対策として接点部の摩耗低減策も実施していたが、効果が不十分であったため、再度リコールを実施するものである。